

令和8年8月 長浜市教育委員会定例会 会議録

I. 開催事項

1. 開催日時

令和8年8月19日（水） 午後2時30分 ～ 午後2時44分

2. 開催場所

教育委員会室（長浜市八幡東町632番地 長浜市役所5階）

3. 出席者

教育長	織田 恭淳
委員	前田 康一（教育長職務代理者）
委員	兼子 貴絵
委員	前川 加奈子
委員	押谷 喜美子
委員	上田 祐樹

4. 欠席者

なし

5. 出席事務局職員

教育部長	宮川 芳一
次長	為永 智子
次長	北村 充生
教育総務課長	服部 稔
教育改革推進課長	長屋 光彦
教育指導課長	細江 秀樹
教育指導課副参事	佃 さやか
学校給食課長	隼瀬 大典
幼児課長	藤田 哲夫
教育センター所長	東野 裕賢
教育総務課長代理	石田 剛寛
教育総務課副参事	辻 直也
教育総務課主査	五十嵐 亮平

6. 傍聴者

1 名

Ⅱ. 会議次第

1. 開 会

2. 議 事

日程第 1 会議録署名委員指名

日程第 2 会議録の承認

日程第 3 教育長の報告

日程第 4 議案審議

議案第 29 号 長浜市特別支援教育支援委員会規則の一部改正について

日程第 5 協議・報告事項

協議・報告① 令和 9 年度幼稚園・保育所・認定こども園入園入所にかかる
募集要項について

日程第 6 その他

3. 閉 会

Ⅲ. 議事の概要

1. 開 会

教育長から開会宣言があった。

2. 会議録署名委員指名

兼子委員、前田委員

3. 会議録の承認

7 月定例会

特に指摘事項はなく 7 月定例会の会議録は承認された。

4. 教育長の報告

教育長：本日の校長会で話をさせていただいたことを紹介します。大学新聞の 6 月の初夏号の一面の見出しで「理工・デジタル系シフト鮮明」と掲載されていました。以前からお話させていただいていますとおり、2040 年問題や 2050 年問題において、特に理系人材が不足していく、これに対してどのように対応していくのかということが日本成長戦略会議の中で話し合われたということです。具体的には高校 2 年生からの文系と理系の選択の仕組み

を変えること、女子生徒の理系進路選択支援の強化、高校から大学までの一貫した教育改革等が成長戦略として示されました。この改革を進めていく上でネックになり得るのはやはり固定的なキャリア観だと考えています。

例えば、女子は理数が苦手である、あるいは理数系の大学は偏差値が高いなど、私たちは自分では気づかないうちに物事の捉え方や判断に偏りを持つ無意識の偏見いわゆるアンコンシャスバイアスを持つことがあります。特に保護者を含めた考え方や価値観を変えてくるのは並大抵のことではないと思っています。校長会の中では、0歳から15歳までを預かっている私たちが今出来ることとして、子どもたち自身が自分の人生を真剣に考えることのできる主体性を育むこと、いわゆる自分の進路・人生は自分で切り開くという強い意志を育むことではないのかということをお話しさせていただきました。特に中学校3年生、義務教育学校9年生のしかるべき時に備えまして、自分で考える、自分で選択する、自分で責任を取る、こういう考え方の癖をしっかりと身に付けておくためにも、授業中に過干渉・過保護になっていないか、みんなで協同的な学びが出来ているかを今一度考えていく必要があります、長浜スタイルの授業の意義をしっかりと理解してやっていただきたい、特に2学期は各小中学校で研究授業が進んでいくことも踏まえて改めてお願いをさせていただきました。

教育委員会としても、目の前の子どもたちの状況や課題解決をしていかなければならないのは当然ですが、合わせて子どもたちの将来像をどのようにするのかという議論をおこなっていく必要があると考えています。しっかりと未来を見据えた教育というものをおこなっていきたいと考えています。

5. 議案審議

議案第29号 長浜市特別支援教育支援委員会規則の一部改正について

教育長は事務局に説明を求め、教育指導課長から資料に基づき説明があった。

(質疑応答なし)

各委員とも異議なしということで原案どおり決定された。

6. 協議・報告事項

協議・報告① 令和9年度幼稚園・保育所・認定こども園入園入所にかかる 募集要項について

教育長は事務局に説明を求め、幼児課長から資料に基づき説明があった。

(質疑応答なし)

7. その他

なし

8. 閉会

教育長から閉会宣言があった。

会議録署名人

令和 年 月 日
